



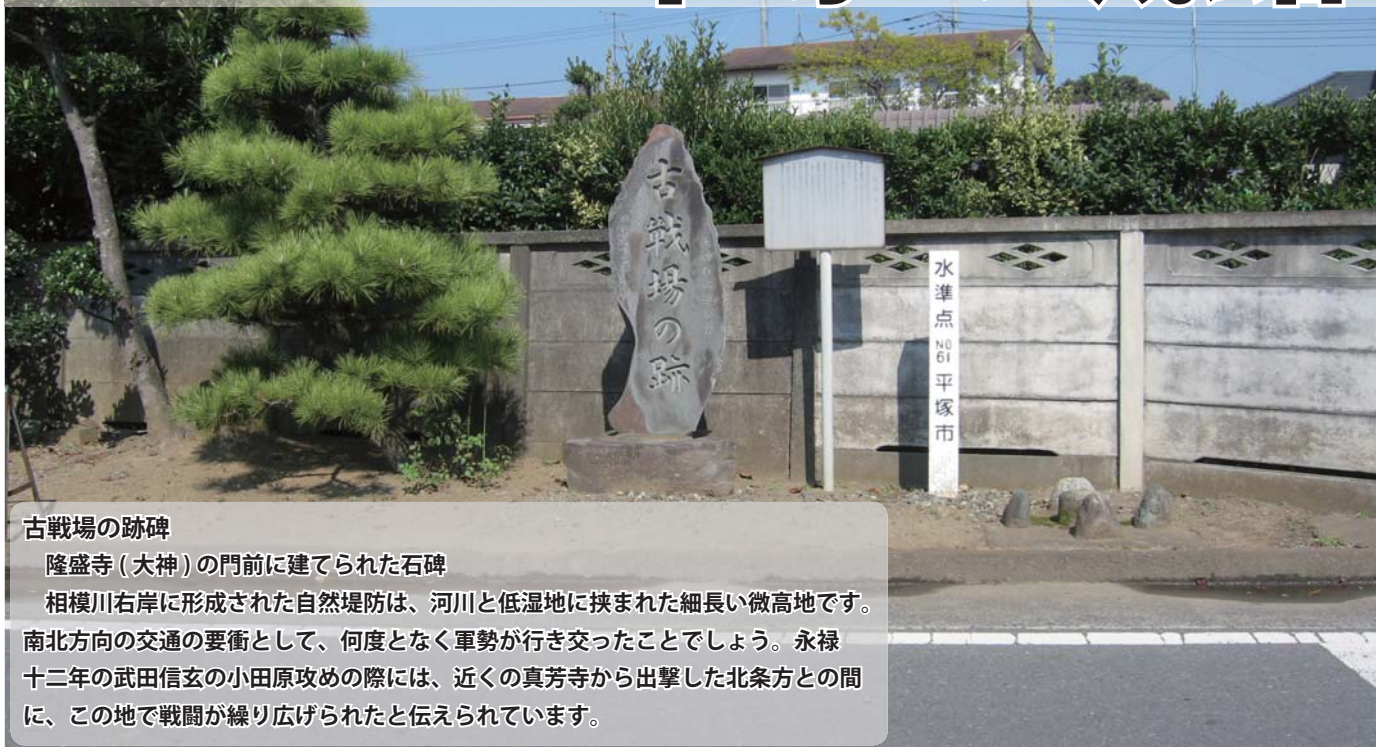
あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2011. 2月号

注目の最前線

平塚の城館



古戦場の跡碑

隆盛寺(大神)の門前に建てられた石碑

相模川右岸に形成された自然堤防は、河川と低湿地に挟まれた細長い微高地です。南北方向の交通の要衝として、何度となく軍勢が行き交ったことでしょう。永禄十二年の武田信玄の小田原攻めの際には、近くの真芳寺から出撃した北条方との間に、この地で戦闘が繰り広げられたと伝えられています。

城館とはその名のとおり「城」と「館」、堀や土塁などの防御設備を持ち、巧みな平面構造で敵の侵入を防ぐ施設を指します。広い意味では弥生時代の環濠集落も含まれますが、一般的には平安時代から江戸時代の「武士の居館」「戦の拠点」がイメージされます。

巷ではまさに歴史ブーム。史跡や戦跡を訪ねると多くの『歴女』『城ラー』『墓参ラー』に出会います。なかでも戦国時代は人気が高く、優美な天守閣や壮大な石垣を持つ城は連日観光客でにぎわっています。ところが、小田原城は別としてどうも相模の城は地味だと思いませんか。

さて、わが平塚を振り返ってみますと、全国的に有名な城があるわけではありません。しかし平塚市域は、古代から中世への転換期に鎌倉幕府の創建に寄与した有力な御家人の多くが本拠を構え、室町期には戦国時代に先駆けて争乱の舞台となり、そして小田原北条氏の物流拠点として機能していたのです。相模国のほぼ中央に位置している平塚は、東西交通と南北交通の交差点として、また陸上交通・海上交通・河川交通の結節点として、歴史上常に重要な意味を持っていたと言えるでしょう。甲斐の武田信玄も越後の上杉謙信も、小田原城を攻撃する際には平塚を通り、陣を構えています。

現在、平塚市内で『城館址』として神奈川県遺跡台帳に登録されている埋蔵文化財包蔵地は岡崎城や中原御殿跡など22か所。その多くが謎に包まれたまま、近年の開発によってその姿が失われつつあります。激動の中世史を探る資料として今後『城館』の実態を解明していきたいものです。

寄贈品コーナー『平塚の城館』

平成23年3月1日(火)～3月30日(水)

平塚市内にある城館の概要と、知られざる城館を探る試みを紹介します。

予告 春期特別展「深海から生まれた湘南」展 を準備中

会期：平成23年3月19日（土）～5月8日（日）

今回の特別展では、湘南地域（大磯～平塚～姥島～江の島～三浦）と相模湾を中心として、湘南地域がかつて相模湾の深海からどのように生まれ、現在に至っているのかという湘南の誕生物語を、陸域と海域の資料から時代を追って紹介します。近年、相模湾に潜航して得られた深海相模湾に関する映像や実物試料を海洋研究開発機構（JAMSTEC）の全面的なご協力のもとに公開し、相模湾が地質的にも生物的にも多様性に富む湾であること、相模湾と湘南地域が地球科学的に密接な深い関係がある



相模川河口から西湘を望む

ことを理解していただければと思います。火山岩の年代測定により、平塚にかつて存在した火山の年代が初めて明らかになったことについても展示します。深海相模湾の地層や生物の写真や映像、相模湾の生物・地質断面図、相模湾と湘南地域の鳥瞰図や海底地形図などの大型パネル、相模湾に見られた溶岩、海底に噴出した平塚の枕状溶岩、丹沢から湘南に飛来したガーネット火山灰、烏帽子岩・江ノ島・三浦半島の岩石などの実物試料を展示する予定です。会期中、サイエンスセミナー「伊豆弧から生まれた湘南」、「展示解説と深海相模湾映像上演」などを予定しています。詳細は来月号に掲載します。ご期待ください。

トピックス 「湘南に降った黒い砂の謎」

昨年12月16日、湘南地域を中心として神奈川県南部の9市9町で黒い砂が積もっているのが話題になり、有害物質ではという疑念もあり、新聞・テレビなど各種メディアで取り上げられました。平塚でも車のフロントガラスを見ると確かに真っ黒く細かな砂が積もっていました。県などの分析の通り、収集して顕微鏡で見ると、トゲトゲした粒子で結晶も含まれており、火山灰ということがわかりました。黒い砂の分布と、上空に吹く風が西風であることを考えると富士山方面から飛来したことになりますが、富士山が噴火したという形跡はなく、何故、飛んできたのかが謎となりました。結局、富士の火山斜面の裸地の火山灰が強風で巻き上げられたものらしいという結論となりました。考えて



黒い砂は富士の火山灰だった

みると、神奈川県には関東ローム層という赤土が広く分布しています。従来、この赤土は富士山が小規模に噴火して累積したものと考えられてきましたが、近年の見解では、黄砂が中国から飛来してくるようになり、強風により火山山麓からその東方に多くの火山灰が飛んできているらしいことがわかってきました。今回の黒い砂の謎は、まさにこうした火山の噴火はなくても、強風のいたずらで巻き上げられた火山灰がしばしば富士から横浜まで飛来することを裏づけたもので、関東ローム層の成因にからんだ、大変意義深い出来事でした。

（森）

展示と関連行事

☆冬期特別展「開運！招福！相州だるま」

新旧相州だるまの数々や木型等の製作工程、多摩や全国各地のだるまを展示します。

会 期：2月6日(日)まで

会 場：博物館特別展示室

■相州だるまの絵付け教室

市内のだるま屋さんの指導であなただけのオリジナルだるまをつくりまします。

日 程：2月6日(日) 指導：本家長嶋達磨店

時 間：1回目・10時～12時 2回目・13時～15時

会 場：博物館講堂

参 加：自由(申込不要)

定 員：各回先着15名。開始10分前から受付します。

材料費：1,000円

その他：多少汚れても構わない格好でお越しください。

☆寄贈品コーナー

「木地だるま展」

館蔵の本間満・木地玩具コレクションから東北地方を中心とする木地だるまの数々を展示します。

会 期：2月6日(日)まで

「平塚の城館」

平塚市内の城と館を紹介します。

会 期：3月1日(火)～3月30日(水)

*プラネタリウム

投影機更新にともなう改修作業のため休演します。

行事参加者募集

○自然教室「春を探そう」

冬芽など、春を待つ生きものの様子を観察します。

日 時：2月26日(土) 13時～15時

場 所：吉沢

定 員：15人(多数の場合抽選)

申 込：往復はがきで2月16日(水)までに申し込む。

○自然教室「春を探そう 2」

里山に訪れた春を探しに行きます。

日 時：3月26日(土) 9時30分～15時

場 所：土屋

定 員：15人(多数の場合抽選)

申 込：往復はがきで3月16日(水)までに申し込む。

○星まつりを調べる会「星の道標を歩こう」

中国・日本式の星座名の入った二十八丁の道しるべをたどります。

日 時：3月5日(土) 10時～15時

場 所：大雄山最乗寺参道(南足柄市)

定 員：20人(多数の場合抽選)

申 込：往復はがきで2月15日(火)までに申し込む。

◆ 申込方法 ◆

申込制行事に参加を希望する方は、それぞれの行事につき、往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入して締切日(必着)までにお申込みください。

博物館の施設利用の変更

平成23年4月1日(金)から、博物館施設の観覧料・使用料・利用できる施設が下記のとおり変更になります。ご利用に際してはご注意ください。特別展示室と茶室は利用できなくなります。施設使用希望の方は、利用日の90日～7日前までに博物館施設利用申込書に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

	区 分	単 位	市 内	市 外
観覧料	プラネタリウム投影観覧	1人1回(18才以上の者)	100円→200円	100円→200円
使用料	講堂	1時間	500円→750円	750円→1,125円

2月

1	火				
2	水				
3	木	展示解説ボランティアの会	講	堂	
4	金	古文書講読会	講	堂	
5	土	星まつりを調べる会	野	外	
		天体観察会	平塚海岸		
6	日	◎相州だるまの絵付け教室	講	堂	
7	月				
8	火				
9	水				
10	木				
11	金				
12	土				
13	日	平塚の古代を学ぶ会	野	外	
14	月				
15	火				
16	水				
17	木				
18	金				
19	土				
20	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野	外	
21	月				
22	火				
23	水				
24	木	石仏を調べる会	平塚		
25	金				
26	土	○自然教室「春を探そう」	吉沢		
27	日				
28	月				

臨時休館

2月7日～28日

3月

1	火				
2	水				
3	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室		
4	金	古文書講読会	講	堂	
5	土	◎星まつりを調べる会	南足柄市		
		地質調査会	科学教室		
6	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野	外	
7	月	休	館	日	
8	火				
9	水				
10	木	石仏を調べる会	特別研究室		
11	金	古文書講読会	講	堂	
12	土	お囃子研究会	講	堂	
13	日	地質調査会	科学教室		
		平塚の古代を学ぶ会	講	堂	
14	月	休	館	日	
15	火				
16	水	民俗探訪会	茅ヶ崎市		
		裏打ちの会	科学教室		
17	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室		
18	金	古文書講読会	講	堂	
		古代生活実験室	科学教室		
19	土	相模川の生い立ちを探る会	講	堂	
		◎特別展示解説と深海相模湾映像上映	特展室・講堂		
20	日	◎ろばたばなし	相模の家		
21	月	休	館	日	
22	火				
23	水				
24	木	石仏を調べる会	特別研究室		
25	金	古文書講読会	講	堂	
		○自然教室「春を探そう2」	野	外	
		◎第4回ひらつか囃子太鼓フェスティバル	市民センター		
26	土	地域史研究ゼミ	特別研究室		
		天体観察会	博物館屋上		
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
27	日	◎サイエンスセミナー	講	堂	
28	月	休	館	日	
29	火				
30	水				
31	木	◎星を見る会「春の星たちを探そう」	博物館屋上		
		天体観察会			

プラネタリウム休演
「木地だるま展」
「開運！招福！相州だるま」
「春期特別展「深海から生まれた湘南」3月1日～30日」
「3月19日～5月8日」

○:申込制行事 ◎:参加自由 無印:年間会員制

臨時休館のお知らせ

現在、博物館の3階で進めているプラネタリウム室の改修作業で、天井部のスクリーン裏側に石綿（アスベスト）が使用されていることがわかりました。石綿除去作業のため、安全を考慮して2月7日(月)～28日(月)の期間、臨時休館いたします。ご迷惑をおかけしますが、どうぞご理解いただけますようお願いいたします。休館中も自然教室等の野外行事は予定どおり実施します。休館中のご質問やお問い合わせは電話やメールにてお願いいたします。

プラネタリウム休演期間の延長
プラネタリウム室の改修と投影機の更新作業は石綿の除去完了まで中断するため、当初予定より新規投影の開始が遅れる見込みとなっております。しばらくの間、ご不便をおかけしますが、どうぞご理解いただけますようお願いいたします。